

◎ 作成に際し、以下の注意事項をご確認いただきますようお願いします。

No.	報 告 に つ い て	補 足 事 項
1	<p>前月（1日から月末まで）実績を、毎月10日までに博覧会協会へ提出してください。</p> <p>・提出フロー</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 各施工業者 ・1日～月末までの自社データの確認・収集・整理 </div> <div style="font-size: 2em; margin: 10px 0;">↓</div> <div style="text-align: center;"> <u>10日までに提出</u> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 博覧会協会 提出データ等の確認・統合 </div> </div>	<p>・以下のとおりメールにて提出をお願いします。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【提出先メールアドレス】</p> <p>TO：博覧会協会</p> <p style="color: green;">assess_houkoku@expo2025.or.jp</p> <p>CC：協会委託業者（一般財団法人日本気象協会）</p> <p style="color: green;">banpakuassess_jwa_kansai@jwa.or.jp</p> </div> <p><u>なお、報告内容に疑義等が生じた場合は、博覧会協会又は協会委託業者から問い合わせることがあります。</u></p>
2	報告は、受け取りしだい集計作業に移るため、 <u>原則、提出内容で都度確定</u> とします。	・記入漏れ等、報告済みの内容を遡って修正する必要がある場合は、 対象セルを「赤色」 にし、提出時にその旨ご連絡をお願いします。
－	全シート共通事項	補 足 事 項
3	「グレーセル」は入力不要です。	
4	シート内の行や列は、 <u>削除しない</u> ようお願いします。	・数式のエラー等、集計作業に影響が出るため、不要な行や列であっても、削除しないようお願いします。
5	シート保護は、 <u>解除しない</u> ようお願いします。	
6	報告に係る質問及び回答は、原則メールにて行います。	・送付先は、上記（No.1）の 【提出先メールアドレス】 あてにお願いします。

－	「1.車両台数(解体工事)」 シート	補 足 事 項
7	「車両種別」の記入は、「リスト」シートも参照の上、 黄色セル のプルダウンリストから該当するものを選択してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・プルダウンリストに同車両種はあるが、積載量が異なる場合は、近い積載量の車種を選択ください。 ex) 5tトラックを使用 ⇒ 「トラック (6t)」を選択 ・「リスト」シートにない車両種を使用した場合は、「1.その他」シートに直接記入してください。 なお、「1.その他」シートへ記入の際は、必ず車両種及び車両重量を併記してください。 ex) 「1.その他」シート → 車両種別の緑色セルへ直接記入 ：「バキューム車 (10t)」
8	車両種別ごとに、 通行ルート（北、中央、南） の台数を ルート毎に記入 してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・北ルートで高速道路を使用できない場合等は、速やかに、その旨を協会までご連絡ください。 ※北ルートは、原則、阪神高速道路を利用してください。
－	「2-1.建設機械関連（解体工事）」 シート	補 足 事 項
9	「建設機械」の記入は、「リスト」シートも参照の上、 黄色セル のプルダウンリストから該当するものを選択してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・プルダウンリストに 該当仕様がない場合は、近い仕様の建設機械を選択ください。 ex) 10kVA発電機を使用 ⇒ 「発電機」の「15kVA」を選択 ・「リスト」シートにない建設機械を使用した場合は、「2-1.その他」シートに直接記入してください。
10	使用した建設機械ごとの、 月あたりの「稼働台数」 及び「稼働時間」を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働台数について ex) バックホウ3台を15日間使用 ⇒ 3台 X 15日間 = 45 台/月 ・稼働時間について ex) 1日あたり、バックホウ3台を7時間稼働(15日間使用) ⇒ 3台 X 15日間 X 7時間 = 315時間/月
11	「国交省指定対策型」は、 対応規制が異なる場合は、別行として記入 してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・対象外の場合は「－」、不明な場合は選択せずに「空白」としてください。 ・「別行として記入」する場合 ex) バックホウ(0.8㎡) 騒音:超低 排ガス:3次 30台/月使用 バックホウ(0.8㎡) 騒音: 低 排ガス:2次 15台/月使用
12	建設機械の記入時の振り分けは、以下のとおりお願いします。 1.他の場所から会場内に 出入りのみ （一般道路を通行・場内稼働なし） ⇒ 車両台数で計上 2.会場内での 稼働のみ （一般道路は通行なし・場内稼働のみ） ⇒ 建設機械で計上 3.他の会場から 出入りし、同日に 会場内で 稼働 （一般道路を通行・場内稼働あり） ⇒ 車両台数と建設機械のいずれにも計上	<ul style="list-style-type: none"> ・「3」の場合、建設機械と車両台数が重複しますが、切り分けずに、それぞれに「稼働台数」及び「稼働時間」を記入してください。 ex) ラフタークレーン5台を使用し、すべて同日に一般道路の通行及び会場内稼働があった場合 【建設機械】 ラフタークレーン(16t) 騒音:超低 排ガス:3次 台数: 5 台 稼働時間: 30時間 【車両台数】 ラフタークレーン(16t) 北ルート: 3台、南ルート: 2台

－	「2-2.建設機械関連（解体工事）燃料別使用量」シート	補 足 事 項																					
13	「バイオ燃料」については、使用するバイオ燃料の種類及び混合比についても記入してください。																						
－	「3.廃棄物関連（解体工事）」シート	補 足 事 項																					
14	「廃棄物の項目」ごとに、発生量及びリサイクル量を記入してください。	・ 処分量は自動で入力されるため、記入不要です。																					
15	「リサイクル量」は、可能な限り処分業者との契約書等も確認の上、適正な数値を記入してください（特に、木くず、紙くず、廃プラスチック類、建設混合廃棄物）。	<div>・ リサイクル率は自動で入力されますが、木くずや紙くず等は、処分業者においてはサーマルリサイクルを実施している場合がありますので、処分業者に聞き取りの上、自動入力されたリサイクル率と相違があれば修正してください。</div> <div>・ また、ヒアリングした内容とリサイクル量などが相違する場合は、ヒアリングした内容に合うよう修正ください。</div> <div>・ ガイドラインに記載している以下リサイクル率にも留意してください。 なお、リサイクル率の合計が目標値を下回っている場合等、協会又は協会委託業者から問い合わせる場合があります。</div> <div><div>C-054 参加者と請負業者は、建設リサイクル推進計画2020（令和2年9月 国土交通省）に示される以下の建設混合廃棄物に係る目標値を達成すること。</div><table><tr><th>品目</th><th>指標</th><th>2024 達成基準</th></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート塊</td><td>再資源化率</td><td>99%以上</td></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td>再資源化率</td><td>99%以上</td></tr><tr><td>建設発生木材</td><td>再資源化・縮減率</td><td>97%以上</td></tr><tr><td>建設汚泥</td><td>再資源化・縮減率</td><td>95%以上</td></tr><tr><td>建設混合廃棄物</td><td>排出率</td><td>3.0%以下</td></tr><tr><td>建設廃棄物全体</td><td>再資源化・縮減率</td><td>98%以上</td></tr></table></div>	品目	指標	2024 達成基準	アスファルト・コンクリート塊	再資源化率	99%以上	コンクリート塊	再資源化率	99%以上	建設発生木材	再資源化・縮減率	97%以上	建設汚泥	再資源化・縮減率	95%以上	建設混合廃棄物	排出率	3.0%以下	建設廃棄物全体	再資源化・縮減率	98%以上
品目	指標	2024 達成基準																					
アスファルト・コンクリート塊	再資源化率	99%以上																					
コンクリート塊	再資源化率	99%以上																					
建設発生木材	再資源化・縮減率	97%以上																					
建設汚泥	再資源化・縮減率	95%以上																					
建設混合廃棄物	排出率	3.0%以下																					
建設廃棄物全体	再資源化・縮減率	98%以上																					